

(施策) 36 情報公開と情報共有の推進

施策又は事業名	確認事項又は評価意見(案)等	回答(担当部局が記入)	担当部局
施策全般	<ul style="list-style-type: none"> 指標1で情報公開が十分にされていると思う市民の割合が増えているのに対し透明度が低いと感じる要因はどこにあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> この2つの指標は関連がありますので、同じ傾向を示すものと認識しています。指標のベースとなるアンケートの対象は無作為抽出であり、毎回対象者が変わるため、経年で比較したときに差異がでたものと思います。 	秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> 指標1行政情報が十分と思う市民の割合が出ていますがどのような形のアンケートなのか。 また、広報誌、ホームページ、タウンミーティングなど情報提供手段があるがそれぞれどのような評価がされているのか。逆に不十分と思う人たちの意見のくみ上げはどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 別添のアンケート様式(総合計画「市民意識に関するアンケート調査」)によるものです。 なお、当該アンケート調査では、広報誌、ホームページ、タウンミーティングを個別に評価する設問はありません。 	企画課 秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> 指標2市政の透明度が高いと感じる市民はどの点を評価しているのか。 上記と同じでアンケートの形式は、できれば見せていただければ幸いです。 	<ul style="list-style-type: none"> 別添のアンケート様式(総合計画「市民意識に関するアンケート調査」)によるものです。 なお、当該アンケート調査では、詳細を評価できる設問はありません。 	企画課 秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標1及び2に関して、調査方法、設問内容について。 指標2に関して、H28目標値36%の考え方(H22実績値に対する。) 	<ul style="list-style-type: none"> 別添「成果指標説明資料」参照。 	企画課
	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報が積極的に公開されていないのでしょうか。個人情報に関わる件についての公開は困難ですが、困難なことを除いた場合、どの位公開していると思われませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 秘書広報課に関わる部分では、ホームページと広報紙が行政情報を伝える媒体となります。ホームページでは、市役所業務が多岐にわたり、かつ専門的なことから、ページを作成する権限は各担当課にあります。総合的な運用をし 	秘書広報課

施策全般（つづき）		<p>ている当課としては、各種窓口や手続き情報、施策・計画、財政情報など、幅広い情報提供ができていていると思っています。</p> <p>また、広報紙においても、各号とも紙面（ページ数）が足りないほど、各課より情報が寄せられていますので、積極的な情報発信に努めているものと思います。</p>	
	<p>・市民と協働するために市民の声を幅広く聴くことや直接話を聴く機会を設けるだけでなく市民が持つ情報の公開については行なっていますか。</p>	<p>・市では、市民による主体的なまちづくり活動を支援し、協働によるまちづくりを推進するため、市民活動情報センター「ぼぼらーと」を設置し、市民活動に関する情報の収集及び提供を行なっております。</p> <p>また、市内NPO法人について、昨年10月から所轄庁が市になったことにより各法人との接触の機会が増えたことを機に、市民の方へ活動の周知度を深めるため、今年度はぼぼらーとHPに法人の紹介の掲載を行うなどのNPO支援事業も計画しております。なお、市民活動団体等が行う活動や行事等について、希望により石狩市掲示板（あいボード）、広報に掲載を行なうことが出来ます。</p>	協働推進・市民の声を聴く課
	<p>・OSSの導入による期待する効果は。</p>	<p>・ソフトのライセンス経費が不要になり、コストの削減効果があります。</p>	秘書広報課
	<p>・どの様にして、ホームページを開いてくれる市民を増やせるかが、関心を持つことに関係すると思われます。目標値を増やすにはきれいな動画や画面をつくるCMSの導入を早めては如何。</p>	<p>・自治体ホームページは、高齢者や障がい者を含めた誰もが利用できること（アクセシビリティ）が求められるため、当市においても、音声読み上げソフトへの対応や色の組み合わせなどに配慮しています。</p> <p>このため、アクセシビリティを意識するあまり、文字情</p>	秘書広報課

施策全般（つづき）		報が多く、デザイン性にも乏しいページ構成になりがちで、読みにくい、興味がわからないといったことも考えられますので、次期リニューアルの際はこの点も考慮することとしています。	
	・指標1及び2の値はこんなモノと推察しますが、情報機器を使えない市民もいるのではないのでしょうか。	・ホームページは行政情報を発信する媒体の1つとしています。情報機器を使えない方には、これまで通り、広報紙や新聞などのマスコミを通じ、情報発信していきます。	秘書広報課
	・インターネットが市民にどれくらい利用されているか、情報を知りたいです。	・市では数字を持ち合わせていません。 なお、石狩市内はほぼ全域がNTT東日本提供の光ブロードバンドのサービスエリアになっています。 ※フレッツ光の加入率を情報推進課経由で、NTTに照会中（開示可能か否かも含めて）。	秘書広報課
広聴事務	・市長室開放日数が目標値に達していませんが、来訪がなかったのですか。 ・（成果指標）来訪件数が減少傾向にある、市長室開放の在り方について。	・市長室開放事業は毎月1回の開催としておりますが、市長の急な上京公務発生等により2回開催出来ませんでした。なお、事前に申し込みをいただいていた団体とは日程を調整し別日に振り替えて面談を行っております。 ・開かれた市政の実現を目指すために市長が市民と積極的に対話する機会を設けることは重要な事業であると考えており、広報、HP等による事業の周知に努めてまいります。	協働推進・市民の声を聴く課
	・時間が許す限り、市長（や市関係者）が、市民と積極的に対話するとありますが、公務との関わりで時間的制約が予想されます。それを改善するには、年何回という目標値で、十分ではないのでしょうか。それ以上の実績と達成目標	・市長室開放事業は、毎月1回15時から17時の間で行なうこととしており、活動指標の目標値として年12回の開催、成果指標の目標値として、1件あたり30分の時間を確保することにより1回の開催で4件の面談が可能なることから、	協働推進・市民の声を聴く課

<p>広聴事務（つづき）</p>	<p>は至難に思えます。何か方策を行政としてお考えでしょうか。</p>	<p>48件と設定しております。 事業の周知に努め、設定された機会をフルに活用していただくよう目標値として設定しております。</p>	
	<p>・市民の声で実施した内容と受け付けた件数を教えてください。</p>	<p>H23年度の当課での受付件数総数142件、成果指標については、各要望等に対し所管課において何らかの形で実施可能と回答した19件について、今年度に入ってから事後調査を行い、実施を確認した割合を記載しております。 主な内容は、歩道危険箇所修理、カラスの巣駆除、除雪方法注意看板設置などです。</p>	<p>協働推進・市民の声を聴く課</p>
	<p>・今後の方向性について運営方法にメスを入れる意識が必要とありますが、課題などがありますか。</p>	<p>・自治懇話会について、要望事項の提出とそれに対する回答に終始するケースが多く、本事業の目指すあり方である「懇話」に必ずしもなり得ていないところがあります。</p>	<p>協働推進・市民の声を聴く課</p>
<p>ホームページ運用事務</p>	<p>・利用に制約のある人に配慮した効果は表れましたか。また、その効果を知る方法は？</p>	<p>・民間企業によるウェブサイトクオリティ実態調査において、Bレベルの評価。この調査は全国47都道府県、人口5万人以上自治体、東京23区（607自治体サイト）を対象にアクセシビリティの対応状況が評価されています。 評価はAからEの5段階で、道内では17自治体が対象で、A評価3自治体、B：3、C：3、D：7、E：1となっています。</p>	<p>秘書広報課</p>
<p>広報紙編集配布事業</p>	<p>・市広報紙の事業費の内訳を教えてください。</p>	<p>・制作費8,889千円、印刷費6,350千円、配布費4,670千円。 ※一括契約のため、積算ベースの事業費です。そのため合計値は一致しません。</p>	<p>秘書広報課</p>

広報紙編集配布事業 (つづき)	・発行部数より配布部数目標値が多いのはなぜですか。	・全世帯配布として発行していますが、実際には複数世帯が同居していたり、グループホーム等では入居者の回覧で対応していたりと、住民基本台帳上の世帯数よりも実際の配布数が少なくて済むためです。	秘書広報課
	・全世帯に配布できない理由は。	・上記理由により、全戸配布をしていますので、全世帯に配布されているものと見なしています。	秘書広報課
	・広告掲載希望のガイドラインはありますか。	・石狩市有料広告掲出の取扱いに関する要綱 ・石狩市有料広告掲出の取扱いに関する運用基準	秘書広報課
	・過去において掲載を断った事例がありますか。	・広告を断った事例はありません。	秘書広報課
	・高齢者にとって、広報誌は行政・市役所との有力なネットワークでしょう。特に活字が小さいと読むのみ大変で、活字ポイントを大きめにする工夫などは検討されたことはあるのでしょうか。印刷上紙数が増えて大変と言うことにもなり、妥協しなければならないこともあるのでしょうか。	・制作時には、極端に文字ポイントが小さくならないよう注意しています。全体的に大きくすることについて、検討はしていますが、現在の情報量を確保するにはページを増やす必要があり、制作・印刷経費が増加するため、現状での対応は難しいと考えています。	秘書広報課
市進展状況等の記録撮影事業	・活動指標に関して、業務契約数を目標値に設定する必要があるのか。	・当該業務は、撮影業務のほか、マスターテープの保管も含まれ、テープを劣化させない環境を有する業者を選考する必要のあるため活動指標に設定しました。	秘書広報課
	・年間の収録数が21年から3件となっていますが件数での契約ですか、デジタル方式への移行の予算内とは現状予算額ですか。	・年間契約で、年3件を想定しています。デジタル方式への移行については、現行予算の範囲内での交渉を進めます。	秘書広報課

市進展状況等の記録撮影事業（つづき）	<ul style="list-style-type: none"> 収録し、作成されたメディアは、市に保管管理されるのみでしょうか。市民がメディアを買い求めるかどうか、もし求める市民があれば、市販することも考えられますが。 	<ul style="list-style-type: none"> この業務は、市の発展経過を映像で記録するものですが、石狩市紹介するなどの作品を制作する際に記録した映像を素材として活用することも念頭においています。 過去に制作したビデオは市民への貸し出し等を行っています。 	秘書広報課
ふれあいタウンミーティング開催事業	<ul style="list-style-type: none"> 開催場所のそれぞれの参加者数。来場者アンケートに不満を記述してあるものはありますか。あったらその内容を教えてください。 3会場（石狩、厚田、浜益）で開催された公開で、どの程度の市民が参加されたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 来場者数は石狩 132 人、厚田 28 人、浜益 48 人です。 アンケートの自由欄では、防災計画・マップに関する要望が多く、このほか、テーマの説明時間を重要なものは長くなど時間配分に関する事、スライドの文字が小さくて見えない、メモを取る机がほしい、1人の質問者が何度もするのはいかがかななどの意見をいただきました。 	秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> どの程度、市民の参加を期待されておられるのでしょうか。パワーポイントなどの資料を町内会などに貸し与えて、利用を促すこともあり得るのではないのでしょうか、困難でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各会場のキャパシティーに応じた参加を期待しています。 資料の貸与については、公益性・公共性の高い用途であれば、スライド資料を提供しています。（昨年1件提供） 	秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> 開催時間や開催曜日等に工夫していますが参加者数から効果が上がっているとはいえません。現在のPR方法は？ 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙、市ホームページ、新聞記事、町内会などの各種団体の代表者への開催案内の送付によりPRしています。 	秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から目的や意図は達成できていると思いますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者からは、おおむね良好との結果をいただいておりますが、参加者数を増やしていくことが必要と考えています。 	秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標、参加者数の減少傾向に対して、開催箇所を増やす考え方について。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の形態では、ステージ・音響・観客席の確保が必要で、開催可能な場所が限られるため、検討していますが実現していません。 	秘書広報課